

ミミズとスポーツターフの関係

ミミズは土を耕してくれる有用な生物ですが、スポーツターフでは、ミミズのフン塚によって美観が損なわれることが問題となることがあります。今回は、ミミズのフン塚対策についてご紹介します。

ミミズは土壌中に生息する生物で、土を食べ、土の中の有機物や微生物を栄養としています。フンは粒状をしており、土壌の団粒構造の形成に一役買っています。団粒構造とは、土壌の粒子が小さな塊（団粒）を形成した状態のことで、土壌が固結するのを防ぎ、通気性・透水性・保水性等を良好な状態に保つ効果があります。

昔から、ミミズがいる土はいい土といわれ、実際に土壌改良に役立っているミミズですが、あまり好ましくない場面もあります。それがスポーツターフにおける“ミミズのフン塚”です。

サッカーグラウンド等のスポーツターフでは、水はけが悪い時期に、土壌内のミミズが息をするために表面に上がってきて、フン塚を形成することがあり、美観が損なわれます。

ミミズがたくさんいるということは、土壌にとっては良いことといえます。畑であればそれでいいのですが、スポーツターフは人間がスポーツをする目的のために造られた緑地ですから、ミミズのフン塚が大量に発生してしまうと、利用に支障がでてしまいます。

また、ミミズがたくさんいるということは、土壌内に有機物が多く存在していることが考えられます。有機物が過剰に蓄積すると、土壌の透水性や通気性が悪化する原因となります。そして、ミミズが表面に上がってくるということは、すでに通気性や透水性が悪化していることの表れといえます。



黒い点々部分がミミズのフン塚(12月撮影)

さらに、ミミズはモグラや鳥、イノシシ等、多くの動物の餌となることから、大量にいることでそれらの生物を誘引する可能性もあります。

こうした理由から、スポーツターフではミミズのフン塚を解消する・ミミズを減らす管理が望ましいといえます。

具体的には、まず、ミミズが表面に上がってこない様、通気性・透水性をよくしておくことです。方法としては、コア抜きエアレーション、砂の目土による土層の改善が挙げられます。

次に、ミミズの数を減らす方法ですが、ミミズの餌となる土壌内の有機物を減少させるため、使用する肥料は有機物の含有が少ないものを選びます。

最終的な方法としては、ミミズに効果のある薬剤を散布することですが、農薬ではなく忌避剤を利用する方法もあります。

椿油粕や茶味粕に含まれる“サポニン”は、界面活性作用を有し、細胞膜を破壊する働きがあります。ミミズの多い芝地にサポニンを含む資材をまき、上から散水すると、サポニンの成分が水に溶け土壌内に浸透していきます。ミミズはそれを嫌がり、地表に出てくるので、そこを捕まえて駆除します（バケツ等に入れておくと、そのうち干からびて死んでしまいます）。かわいそうに思われるのであれば、近くの畑や樹木下に放してやってくださいね（もちろん芝生に隣接していない所で）。

製品紹介

スキープン・ターフ

酢酸による乾燥耐性向上で散水を軽減



- 芝生に散布することで、夏場の高温や乾燥に対するストレス耐性を強化します。乾燥耐性の強化により、散水の量や回数の軽減が可能です。
- 土の表面が少し乾くぐらいのタイミングで散布してください。
- 繰り返し散布を行うとさらに効果が強く発揮され、持続します。

- 一般名称：酢酸入り植物活性剤
- 内容成分：酢酸
- 包装：1L
- 施用目安：500倍希釈し、500ml/m²で散布

- 植物の茎や葉などに直接かかっても枯死などの大きな損傷はありませんが、花などを含むこれら比較的弱い部分にはできるだけかからないようにしてください。

ニームケーキパウダー

天然成分による害虫予防



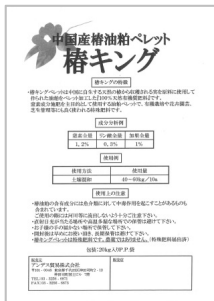
- インド産の薬木ニーム（日本名：インドセンダン）のタネの中心部分（核）の油かすを原料とした、天然有機質肥料です。
- 虫よけ効果のある有効成分アザディラクチンが含まれています。
※特殊肥料であり、農薬ではありません。
- 土壌環境の改善や土壌団粒化の効果も期待できます。

- 肥料名称：ニーム核油粕
- 成分：窒素 5.0~6.0%
リン酸 0.9~1.2%
加里 2.2~2.6%
Mg 0.57
S 1.0
Ca 0.57
アザディラクチン 1000ppm
- 正味重量：20kg/袋
- 施用目安：土壌混和（元肥・追肥等）40~100g/m²
株元への施肥（上振り等）
果菜類：100~150g/株
果樹：500g/株

- 施肥後に白いカビのようなものが発生することがありますが、有用な菌である「放線菌」であり、病原菌ではありません。
- 低温化で残留油分が固まることがありますが、品質上問題ありません。20℃前後になると粉末状に戻ります。

椿キングペレット

サポニンによる忌避作用



※画像はパンフレット

- 中国に自生する天然の椿から収穫される実を絞った後の油粕を原料とした100%天然有機質肥料です。
- ミミズに対し忌避効果のある有効成分サポニンが含まれています。
※特殊肥料であり、農薬ではありません。
- 粉末タイプの椿油粕ミール（20kg）もあります。

- 肥料名称：100%天然有機質肥料（椿油粕）
- 成分：窒素 1.2%
リン酸 0.3%
加里 1.0%
- 正味重量：20kg/袋
- 施用目安：40~60g/m²（土壌混和）

- 魚介類に対して中毒作用を起こす可能性のある成分が含まれるため、河川等に流出しないよう注意してください。

取扱い・お問合せは—